

令和2年6月期（令和2年1月8日～令和2年6月8日）決算短信

令和2年7月16日
上場取引所 東証

ファンド名 MAXIS全世界株式（オール・カントリー）上場投信
 コード番号 2559
 連動対象指標 円換算したMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス
 主要投資資産 株式
 売買単位 1口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 松田 通
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 笠間 悦男 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 令和2年9月7日
 分配金支払開始予定日 令和2年7月17日

I ファンドの運用状況

1. 令和2年6月期の運用状況（令和2年1月8日～令和2年6月8日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和2年6月期	2,851	(99.6)	12	(0.4)	2,863	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和2年6月期	—	297	—	297

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
令和2年6月期	2,876	12	2,863	9,642

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
令和2年6月期	39

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

第1期
[令和2年6月8日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	14,319,991
親投資信託受益証券	2,851,241,108
未収入金	10,692,252
流動資産合計	2,876,253,351
資産合計	2,876,253,351
負債の部	
流動負債	
未払収益分配金	11,583,000
未払受託者報酬	107,171
未払委託者報酬	310,729
未払利息	25
その他未払費用	517,139
流動負債合計	12,518,064
負債合計	12,518,064
純資産の部	
元本等	
元本	2,970,000,000
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△106,264,713
（分配準備積立金）	175,066
元本等合計	2,863,735,287
純資産合計	2,863,735,287
負債純資産合計	2,876,253,351

（2）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

第1期
自 令和2年1月8日
至 令和2年6月8日

営業収益	
受取利息	22
有価証券売買等損益	247,438,173
営業収益合計	247,438,195
営業費用	
支払利息	869
受託者報酬	107,171
委託者報酬	310,729
その他費用	517,139
営業費用合計	935,908
営業利益又は営業損失（△）	246,502,287
経常利益又は経常損失（△）	246,502,287
当期純利益又は当期純損失（△）	246,502,287
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	-
期首剰余金又は期首欠損金（△）	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	341,184,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	341,184,000
分配金	11,583,000
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△106,264,713

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

	第1期 [令和2年6月8日現在]
1. 期首元本額	—円
期中追加設定元本額	2,970,000,000円
期中一部解約元本額	—円
2. 元本の欠損	
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	106,264,713円
3. 受益権の総数	297,000口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第1期 自 令和2年1月8日 至 令和2年6月8日		
1. その他費用	上場費用および商標使用料等を含んでおります。	
2. 分配金の計算過程		
	項目	
	当期配当等収益額	A △847円
	親ファンドの配当等収益額	B 12,693,952円
	分配準備積立金額	C —円
	配当等収益合計額	D=A+B+C 12,693,105円
	経費	E 935,039円
	当ファンドの分配対象収益額	F=D-E 11,758,066円
	収益分配金金額	G 11,583,000円
	次期繰越金(分配準備積立金)	H=F-G 175,066円
	当ファンドの期末残存口数	I 297,000口
	1口当たり分配金額	J=G/I 39円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第1期 自 令和2年1月8日 至 令和2年6月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 [令和2年6月8日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第1期 [令和2年6月8日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	248,980,515
合計	248,980,515

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第1期 [令和2年6月8日現在]
1口当たり純資産額	9,642円